

ヤマサナエ

Asiagomphus melaenops

種名



分類	昆虫綱トンボ目 サナエトンボ科
俗称	
形態的な特徴	体長約 62～70mm、後翅長約 40～42mm。大型のサナエトンボで、翅胸前面の黄斑はL字形。キイロサナエに似るが、の尾部付属器は上下の長さがほぼ等しく、上付属器の先はしだいに細くなる。
分布	本州、四国、九州に分布。日本固有種。
繁殖行動	成虫期は4～8月で、最盛期は5月下旬～6月。
生息場所	平地や低山地の緩流に発生し、成虫は流水の周辺に見られ、もっとも普通である。
食性	
生息環境への配慮	
引用文献：改訂新版 世界文化生物大図鑑 昆虫	